

### ■第12回栃木県GMP関連研修会開催される

第12回栃木県GMP関連研修会は、さる1月29日（月）14時から、宇都宮市内の「ホテルニューイタヤ」で開催されました。

本研修会は、平成8年1月に第1回が開催されて以来、毎回100名以上の参加者があり、今回も、会員外の会社などを含めて約190名となり、昨年を上回る参加者数となりました。

研修会は、中野副会長の司会で開会し、佐藤会長と宇賀神薬務課長（代理：塚原課長補佐）のあいさつのあと、会員からの演題発表は、町田副会長が座長となり進められました。

#### ○演題1

最初の発表者は、花王(株)栃木工場の稲見文夫さんで、演題は「生理処理用品の品質保証について」です。

同社の工場概要や製品の紹介のあと、製品に特性的な不良品の発生防止対策や、同社消費者相談センターへ寄せられた消費者の声を製品に活かすしくみなどについての発表があり、医薬部外品や医療機器の業種の方には特に参考になった点が多かったと思います。



#### ○演題2

2番目は、(株)カナエ栃木工場の安西徹さんで、演題は「逸脱を踏まえた市場出荷判定手順」です。

同社工場では、医薬品と治験薬の受託製造が行われているとのことであり、これらの製品が市場へ出荷されるに当たって、その判定のフローを具体的な様式例とともに説明されました。なお、本研修会における同社からの発表は今回が初めてであり、発表の準備などで大変だったと思いますが、あらためて御礼申し上げます。



#### ○演題3

3番目は、(株)シーボン栃木工場の中里晋士さんで、演題は「化粧品メーカーによるクレーム再発防止対策」です。

社内におけるクレーム情報の共有体制や異物混入防止対策などについての発表内容でしたが、事例を通じた具体的な対策ということで、発表後には活発な質疑応答が行われ、化粧品の業種以外の参加者にも参考になる点が多かったことと思います。



#### ○演題4

4番目は、全業工業(株)栃木工場の進藤一馬さんで、演題は「GMPに適合した新生産管理システムの導入について」です。

同社工場における当該システムの導入経緯とシステムの概要に関する紹介に続いて、導入の成果に関する説明がありました。GMPについては、コンピューターによる管理がここまで進んでいるということについて、あらためて驚いた次第です。



#### ○演題5

5番目は、不二ラテックス(株)栃木工場の栃木孝敏さんで、演題は「当社のISO14001取得活動・ゴミ減量作戦」です。

同社の環境活動に関する紹介のあと、ゴミの減量、特に紙ゴミについて、いかにして発生量を減らすかということについての説明がありました。前の4つの演題とは少し異なる内容かもしれませんが、どの業種にも共通する課題であり、参加者にとっても、その重要性が認識されたものと思います。



#### ○演題6

最後は、栃木県保健福祉部薬務課の荒井顕義主査から、「事業所における毒物劇物の取扱上について」と題して説明がありました。

毒物劇物は工業的には有益な物質ですが、取り扱いに注意しなければ保健衛生上の危害が発生するおそれがあります。参加された各事業者のほとんどが、何らかの毒物劇物を取り扱っていると思いますが、今後も、事故のないようにお願いしたいと思います。



なお、今回、会員から発表された演題1～5につきましては、例年9月に開催される県公衆衛生学会でも発表して頂くこととなっております。どうぞ、よろしく願いいたします。

## ■ 新年賀詞交歓会

さる1月29日(月)18時より(栃木県GMP関連研修会の終了後)、ホテルニューイタヤにて恒例の新年賀詞交歓会が開催されました。(出席者数106名)

松谷副会長の司会で開会となり、佐藤会長のあいさつのもと、来賓紹介がありました。ご出席いただいたご来賓の方々は次のとおりです。(祝辞：田中保健福祉部長)

- |                     |         |
|---------------------|---------|
| ・栃木県保健福祉部長          | 田中 一成 様 |
| ・栃木県保健福祉部次長兼保健福祉課長  | 荒川 勉 様  |
| ・栃木県保健福祉部薬務課長       | 宇賀神貞夫 様 |
| ・栃木県保健福祉部薬務課長補佐(統括) | 小平 茂男 様 |
| ・当会顧問(第7代会長)        | 石橋嘉一郎 様 |
| ・当会顧問(第10代会長)       | 荒井 邦男 様 |

続いて、懇談に入り、20時までの約2時間、有意義な賀詞交歓会となりました。



会長あいさつ



部長祝辞



会場の様子

## 平成18年度 栃木県GMP研修会開催される

平成18年12月1日(金)、15時から、宇都宮市内の「ホテル東日本宇都宮」にて標記研修会が県との共催で開催されました。

当日は本会の会員だけでなく、会員外や県外の事業者も多数の参加があり、定員150名の会場内はほぼ満席の盛況でした。

研修会は当会の中野副会長の司会で進められ、佐藤会長と宇賀神県薬務課長のあいさつのもと講演に入りました。

まず、「医薬品等のGMP推進に向けて」と題して、薬学博士の長谷川正樹先生にご講演いただきました。

長谷川先生は、民間の製薬企業で医薬品の製剤技術に関する研究等に從事されたのち、平成13年4月から今年の3月まで、三重県科学技術センター工業研究部医薬品研究センターのセンター長として在職され、今年4月からは、同県メディカルバレー推進サポーターとしてご活躍中です。

今回は、異物混入の事例やその対策などについてご講演をいただきました。参加者から「日常業務の参考になった」「今後の品質管理に役立てたい」といった感想が多数寄せられました。

次に、「栃木県におけるGMP/QMS適合性調査」と題して、栃木県保健福祉部薬務課の永井伴幸主査から、調査の具体的事項に関する説明がありました。

栃木県薬事工業会では、今後もこのような研修会を県と共催で開催していく予定ですので、今回欠席された方につきましても、ぜひ次の機会にご出席くださるようお願いいたします。



長谷川講師



永井講師



会場の様子

栃木県生まれの方なら、郷土料理である「しもつかれ」のことを知らない（食べたことがない）という人はあまりいないと思いますが、今回は他県出身の方又はまだ一度も食べたことのない人のために紹介したいと思います。



「しもつかれ」は、栃木県を中心として、農家で古くから伝わってきた郷土料理で、地域によっては、「しみつかれ」とか「すみつかり」などといわれますが、その語源はよくわかりません。一般的には、初午（2月の最初の午（うま）の日）に食べる習慣があり、この日に稲荷神社に奉納して一家の無病息災を祈ったと言われています。

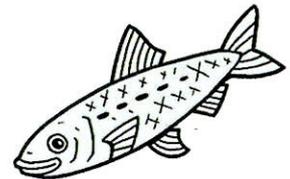


作り方はそれぞれの家によって違いますが、大根、ニンジンなどの野菜を「鬼おろし」という大型の大根おろしのようなもので細かくすりおろし、お正月の残り物である新巻鮭の頭や節分でまいた大豆、それに、油揚げ、酒かすなどを加えて味付けし、シャケの骨がやわらかくなるまでよく煮込んだものです。

一口食べてみれば、シャケの生臭さもそれほど感じず、大豆や油揚げのタンパク質と野菜の繊維質が渾然一体となった、まさに「栄養満点の食べ物の大運動会やー」（グルメリポーター彦磨呂風）といったところでしょうか？

このように、食べ物を粗末にしないで残り物を上手に利用し、しかも栄養のバランスのとれた偉大な郷土料理「しもつかれ」ですが、残念ながら、見た目がおいしそうではないので、なかなか全国的に広まるといことがありません。それどころか、栃木県内においても、先人たちのすばらしい知恵が伝承されていかないためか、自宅で作る家庭が少なくなっているようにも思えます。

でも、大丈夫です。県内の多くのスーパーには、一年を通じてパック入りのものが販売されています。また、季節限定のメニューですが、国道293号線沿い、那珂川町にある「道の駅ばとう」のレストランでも食べられます。さらに、各地で、料理コンテストが行われたり、学校給食にも取り入れられているところがあると聞きました。子供の頃からしもつかれのおいしさを味わってもらい、将来に伝えていって欲しいものです。



さて、しもつかれは、基本的には、ごはんのおかずとして食べるのが一番だと思いますが、筆者は、特に、さめたしもつかれをほかほかのごはんのにせて食べるのが大好きです。そういったわけで、牛井屋さんなどで「本場栃木のしもつかれ丼」（？）などといったメニューがでるのをひそかに期待している今日この頃です。

そのほかに、しもつかれのおいしい食べ方、変わった作り方などをご存知の方、ぜひ教えてください。そして、栃木県薬事工業会の会員のみなさん！この郷土の誇りである「しもつかれ」をぜひ全国へ広めてくださるようお願いいたします。

## 編集 後記

スノーボードを趣味とする私には、待ちに待った冬！…のはずでしたが、今年は辛い冬になりました。暖冬の影響で積雪量が少なく、コースの一部が閉鎖のまま、、、というグレンデもあります。現在は雪を求めて北上しています。このまま温暖化が続くと、日本の美しい四季は狂ってしまい、夏の平均気温が連日40℃・1月に紅葉・3月に桜の開花という状態になるそうです。1人1人が、真剣に環境問題に取り組むことの出来る社会になればと、願っています。

発行日 平成19年3月1日  
発行所 栃木県薬事工業会  
宇都宮市戸祭元町1-25  
栃木県保健福祉会館内  
TEL (028)650-6163  
E-mail:yakumu01@beige.ocn.ne.jp